

平成24年度 保健福祉部 経営計画書

部署名	保健福祉部
役職・氏名	部長 土井 和子
保健福祉部 経営方針	
<p>● 部の使命</p> <p>私たち保健福祉部は、市民の皆さんが、“健やかでいきいきとした暮らし”ができるユニバーサルデザインのまちづくりの推進のため、赤ちゃんから高齢者や障がい者等が、住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らすための保健福祉行政を推進します。また、行政と地域住民やボランティア、NPO等の関係団体等の協働により、地域力や福祉力を高める等、すべての人にやさしいまちづくりへの取り組みを実現します。</p>	



<p>● 部の基本方針</p> <p>～部の使命を果たすために、保健福祉部は次の方針を掲げます～</p> <p>①障がい者や生活困窮者がいきいきと暮らせるまちづくりを推進するため、自立できる就労支援や居住場所を確保します。</p> <p>②安心して笑顔で子育てできるまちづくりを推進するため、子どもにとって最善の環境が確保できるよう家庭の事情にあった支援を行います。</p> <p>③健やかに暮らせるまちづくりを推進するため、市民個々人のニーズに合った心と身体の健康づくりを支援します。</p> <p>④高齢者を地域ぐるみで支えあうまちづくりを推進するため、関係機関や地域に住む人々のネットワークにより継続に高齢者の相談支援を行います。</p>
--

●平成24年度 部のスローガン	ふれあい・ささえあい・たすけあい												
部署内経営資源													
構成人員	<table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>臨時職員等</td> <td>計</td> <td>当初予算 (うち人件費)</td> <td>一般会計 特別会計</td> <td>3,983,551 千円 3,774,631 千円 (1,002,346)千円</td> </tr> <tr> <td>114人</td> <td>143人</td> <td>257人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計 特別会計	3,983,551 千円 3,774,631 千円 (1,002,346)千円	114人	143人	257人			
正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計 特別会計	3,983,551 千円 3,774,631 千円 (1,002,346)千円								
114人	143人	257人											

保健福祉部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況	
1	指定相談支援事業の整備	障がい者等の生活介護サービスの充実を図り、グループホーム、ケアホームの増設により、居住基盤の整備の促進をします。 障害者地域支援センター(スマイル)の充実を図るため法人格を有する団体に管理運營業務を委託します。	グループホーム、ケアホームの整備。(居住系サービス月11.5名⇒15名) 指定管理者募集⇒運営管理10月～計画相談支援事業(プラン作成) H. 24⇒60名	事業者によるグループホーム(10床)計画は県の認可まち。 スマイルの運営は10月1日から指定管理者社会福祉法人閑谷福祉会が実施。 プラン作成済は53名。	・事業者⇒県補助内定、グループホーム、就労支援B型、共同生活援助、H.26開所(予定地:長船町福岡)。 ・スマイル指定管理者⇒4月～生活介護開始 ・障害者個々人のプラン作成⇒66名
2	ジョブスポットせとうち就労支援事業の充実	生活保護、障がい者、母子家庭等子育て女性に対して、その方に合った就職・生活支援を行います。	チームにおける支援目標、就職率:障がい者55%、生活保護受給者60%、子育て女性84% 心の健康相談年39名 出張相談 年16回	障がい者3名、生活保護受給者12名、子育て女性11名が支援により就職。 出張相談8回実施	・障がい者⇒55.6%、延10名、生活保護受給者⇒66.7%、延14名、子育て女性⇒71.0%、延22名就職。 出張相談⇒14回。

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
3 子育て環境の充実	<p>保育ニーズの高まりや既存保育施設における保育環境の充実や発達障がい等の支援を勘案し、保育所のあり方について検討します。</p> <p>子育ての孤立化や児童虐待を予防するため、乳児全数訪問を実施し、安心して子育てが出来る環境づくりに取り組みます。</p>	<p>発達障がい児（グレーゾーン）の支援施設や認定こども園等の検討。</p> <p>乳児全数訪問（240名）</p>	<p>発達障がい児の拠点施設や一時保育を一体化した施設の開設等検討中。</p> <p>乳児全数訪問を予定どおり実施。</p>	<p>・関係職員（各園長、子育て支援課、教育委員会）と施設等のあり方も含め検討中。施設場所等の協議は、担当課とJAが協議中。</p> <p>・乳児訪問実数⇒229名、延べ⇒236名（要観察児に対しては複数回訪問を実施）。</p>
4 働き盛りの心と体の健康づくりの推進	<p>働き盛りの年齢の方が受診しやすいよう特定健診、各種がん検診を日曜日や夜間に実施します。</p> <p>特定健診と各種がん検診を一度に受診していただく国保総合健診や各種がん検診をまとめて受診していただくがん総合検診を実施し、受診率アップにつなげます。</p> <p>市民の利便性を鑑み、従来の3つのイベントを1本化して、「せとうち保健福祉フェスタ」としてゆめトピアにおいて実施します。</p>	<p>特定健診受診率 H.23実績32%⇒ H.24年度目標値 65%</p> <p>胃がん検診（男）21.2%（女）23.7%、大腸がん（男）30.2%、（女）38.2%、肺（男）21.3%、（女）23.2%、子宮頸がん41.0%、乳がん27%⇒H24年度各がん検診目標値1%の増</p>	<p>・国保総合健診、がん総合検診を実施し、新しい受診者の増加や、受診し易いという感想をいただいている。</p> <p>・せとうち保健福祉フェスタを実施し約3,500名の参加があった。</p>	<p>・特定健診受診率H.24⇒30.7%。</p> <p>・がん検診（胃⇒男19.6%、女22.2%、大腸⇒男22.2%、女24.0%、肺⇒男27.1%、女36.5%、子宮⇒40.3%、乳⇒26.5%【肺がん検診以外の受診率減】次年度より、がん総合検診や国保総合健診日を増とし、受診率アップに繋げる。</p>
5 高齢者介護予防と見守り安心ネットワーク事業の推進	<p>運動機能向上や栄養改善、口腔機能の向上のための事業を実施し、事業終了後、自主グループとして引き続き地域での拠点ができるよう支援します。</p> <p>支援を必要とする高齢者を早期に発見し、地域の民生委員児童委員等のネットワークによる見守りや声掛けにより高齢者の安全、安心を守ります。</p>	<p>二次予防対象者（介護認定予備軍）23年度高齢者総人口の18.4%⇒〈目標〉介護予防の実施により1%減。</p> <p>認知症サポーターの養成 H23年度281人⇒H24年度認知症サポーター養成講座実施とともに介護者家族の集いを実施し、介護の軽減を図る。</p> <p>「災害時要援護者支援システム」登録者の増。</p>	<p>・二次予防対象者17.3%（1.1%の減）</p> <p>・認知症サポーター養成講座（H24⇒152名受講）。「災害時要援護者支援システム」への登録が3,500名</p>	<p>・二次予防対象者16.3%（2.1%の減）</p> <p>・認知症サポーター養成講座 H18～H.24⇒1,300名受講。認知症介護者家族の集い⇒年6回実施、参加者延48名。</p> <p>・「災害時要援護者支援システム」への登録が3,717名。</p>
6 養護老人ホームの整備	<p>入所者の生活環境を高めるため、介護事業のノウハウをもった社会福祉法人を公募し、選定します。</p>	<p>事業者決定⇒7月、経営移譲、運営開始⇒10月～</p>	<p>10月1日から社会福祉法人センチュリー岡山へ経営移譲。</p>	<p>【県補助決定】H.26.4新設予定（邑久町北池）</p>